



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 英 裕治
(コード番号 6803 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 倉原 良弘
(TEL 042-356-9178)

構造改革費用（個別開示項目）の計上（国際会計基準）に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）におきまして、構造改革費用を個別開示項目に計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 構造改革の実施の背景および目的

当社は米国相互関税の影響を最小限にとどめるため様々な施策を行っておりますが、物価上昇の継続、金融資本市場の変動、地政学リスク等、不透明な状況が続いております。この様な状況の中、当社は全社的な構造改革を実施しております。

2. 構造改革の概要

販売拠点および製造拠点の合理化の為、当社の連結子会社である TEAC AMERICA, INC.（米国）および連結孫会社である TEAC UK LTD.（英国）、DONGGUAN TEAC ELECTRONICS Co., LTD.（中国）において人員削減を実施し、この人員削減費用 58 百万円を構造改革費用として営業損益における個別開示項目（国際会計基準）に計上いたしました。

また、TEAC UK LTD. については、本日公表いたしました「連結孫会社の解散および清算に関するお知らせ」の通り、同社臨時株主総会において清算することを決議しております。

なお、本構造改革による効果は、2027 年 3 月期以降に約 200 百万円/年の固定費削減を見込んでおります。

3. 業績への影響について

本構造改革費用の計上につきましては、本日公表の「2026 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。なお、本構造改革費用は、2025 年 5 月 14 日に公表いたしました 2026 年 3 月期連結業績予想に織り込み済みです。

以 上